

閉会の辞

尾崎 正善

それでは続きまして閉会の辞に移らせていただきます。閉会の辞は私が述べさせていただきます。

本日も発表の圭室文雄先生・田中洋平先生・秋津秀彰先生・武井慎悟先生、改めまして誠にありがとうございます。また長時間にわたりましてこの会場にご参加いただいた皆様方、またオンライン上で視聴いただきました皆様方に対しまして、重ねて御礼申し上げます。

本日の発表にございましたように総持寺祖院には、二万点以上、三万点にも及ぶ膨大な資料が整理保存されております。その目録の作成は、圭室先生・田中先生等のご協力とご努力により進んでおりますが、その資料を有効に活用することが出来ているかと言いますと、まだその端緒に就いたばかりという状況であると思っております。

本日の公開シンポジウムでは、四名の先生方にご協力ご参加いただきそれぞれの視点から総持寺祖院資料の紹介とその有用性について、さらに様々な研究の可能性を論じていただきました。今後、祖院所蔵の資料が、曹洞宗及び總持寺の歴史研究はもとより、能登の地方史そして全国の地域史研究などに広く生かされていくことを祈念致しまして、閉会の辞とさせていただきます。本日は、大変ありがとうございました。

(おごとき まさよし・鶴見大学仏教文化研究所客員研究員)